

鳥取学生赤十字奉仕団が「新！ミュージック・フェスティバル 2013」を開催

11月10日の日曜日、鳥取学生赤十字奉仕団（委員長 新居陽太、団員数 64名）は、児童福祉施設鳥取こども学園（鳥取市立川5丁目）の体育館において「新！ミュージック・フェスティバル 2013」を開催しました。

この催しは昭和40年代前半より学生たちの手で継続されており、現在は音楽を使ったレクリエーションとカラオケ中心のミュージック・フェスティバルの2部制にて実施しています。

開催にあたり、鳥取こども学園乳児部 田中佳代子 院長より「奉仕団のみなさんありがとうございます。今日は1日楽しみましょう。」とのご挨拶をいただき、あたたかい雰囲気の中で、第一部のレクリエーションがスタートしました。

団員たちはこの催しに向けて事前に行ったレクリエーション研修の成果を発揮し、子どもたちの前に立って様々なレクリエーションを行いました。参加した子どもたちは少し緊張した面持ちでしたが、時間が経つにつれ、レクリエーションに引き込まれて盛り上がっている様子が見られました。子どもたちの笑顔を見るうちに団員からも自然と笑顔がこぼれ、会場には大きな歓声が響き渡りました。



第二部のミュージック・フェスティバルでは、子どもたちや団員、施設の職員の方が歌声を披露しました。今年は20組というたくさんのお出演があり、様々なパフォーマンスを見ることができました。出演者は、当日までに練習した成果をステージに立って堂々と披露していました。団員たちは、子どもたちのパフォーマンスをよりよいものにするために音響効果や照明効果、司会やステージ設営など、細かなところまで準備して本番に臨みました。参加した団員からは、「当日は疲れがピークでしたが、子ども達の元気を分けてもらい最後まで頑張ることができました。」「子どもたちの笑顔を見ると、準備に苦労し疲れを出したこともありましたが、やってきて良かったと思いました。」など、大きな達成感を味わった声が聞かれました。



【子どもたちのパフォーマンス】



【団員のパフォーマンス】

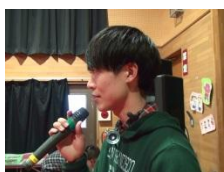


【職員のパフォーマンス】

【最後はみんなで歌おう！】

【会場風景】

準備そして本番当日は、あいにくの立冬過に雨模様でしたが、鳥取こども学園の体育館は子どもたちの歓声が響き渡り盛り上がりの中で無事終えることができました。開催にご協力をいただいた、鳥取こども学園、鳥取市文化センター、オハラ企画をはじめ、ご参加いただいた皆様や、ご担当の職員の皆様にお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。



長崎 実行委員長



挨拶 鳥取こども学園乳児部 田中院長

記事：鳥取学生赤十字奉仕団